



# 広島東南ロータリークラブ 週報2019年3月18日(第2730回例会)

例会日 月曜日 ANA クラウンプラザホテル広島 Tel. 241-1111  
事務所 リーガロイヤルホテル広島13階 Tel. 221-4894  
会長 吉田信秀 幹事 大井克元

3月は「水と衛生月間」です



## 本日の例会

### スケジュール

- 12:30 点 鐘**  
ロータリーソング「それでこそロータリー」  
来客紹介 (親睦委員会)  
会食
- 12:45 会長時間** (吉田会長)  
**幹事報告** (大井幹事)  
委員会報告  
・出席報告 (出席委員会)  
・その他  
同好会報告  
S.A.A.
- 13:00 プログラム**
- 13:30 点 鐘**

### 会長時間

### 幹事報告

- 3/25(月)18:30～次年度第1回クラブアッセンブリー開催
- 広島北RC創立50周年記念講演会ご案内(BOX配布)
- 広島南RCより浅野氏広島入城400年記念ミュージカル観劇のご案内

### 本日のプログラム

「ひろしま美術館の楽しみ方」  
ひろしま美術館 学芸課長 水木 祥子 様

### 次回例会(3月25日)

「今年のカープを占う」  
プロ野球解説者 外木場義郎 様

## お知らせ



ボールハリスフェロー認証状伝達  
高木康一会員

### 2019-20年度国際ロータリーテーマ決定!



マーク・ダニエル・マローニー会長エレクトが2019-20年度の会長テーマ「ロータリーは世界をつなぐ」を発表しました。  
ロータリーの奉仕を通じて、有能で 思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。

### 今後の予定

#### ★次年度第1回クラブアッセンブリー

と き 3月25日(月)18:30～  
と ころ ANAクラウンプラザホテル広島4F  
出 席 (次)理事・役員・委員長・正副リーダー

#### ○第4回「ロータリー情報」

と き 3月28日(木)18:30～  
と ころ ゼネラル興産(株)本社3F会議室  
懇親会 19:20～

#### ○広島14RC合同懇親ゴルフ大会

と き 4月29日(祝)7:30スタート  
と ころ 広島CC西条コース  
懇親会 18:30～ホテルグランヴィア広島4

#### ★地区研修・協議会 **予告**

と き 5月11日(土)  
出 席 次年度会長・幹事・理事等

#### ★第24回全日本RC親睦合唱祭

と き 5月25日(土)12:30～  
と ころ 郡山市(ホスト:郡山南RC)

4月1日(月)は休会です

<クラブ定款第8条第1節(c)により>

### 在広RC例会臨時変更のお知らせ

03/22(金) 広島城南RC  
03/26(火) 広島西南RC  
03/27(水) 広島陵北RC  
03/29(金) 広島城南RC  
04/01(月) 広島東南RC、広島廿日市RC  
04/02(火) 広島安芸RC  
04/04(木) 広島安佐RC  
04/05(金) 広島南RC  
04/16(火) 広島安芸RC  
04/17(水) 広島東RC  
04/22(月) 広島廿日市RC  
05/13(月) 広島廿日市RC

## 前回 2019年3月11日例会

## 卓話「新採用しましょう！育てましょう！～採用→育成→定着サイクルをつくりたい～」

NPO法人キャリアプロジェクト広島 代表理事、株式会社フリーエム 代表取締役社長 有田 耕一郎 様



本日の卓話は、株式会社フリーエムの社長業の傍ら、NPO 法人キャリアプロジェクト広島の代表理事を務めていらっしゃる有田耕一郎様に、「採用しましょう！育てましょう！～採用・育成・定着サイクルをつくりたい～」と題してご講演頂きました。有田さんは住友商事株式会社OBで、広島駐在時代のご縁でフリーエム社に転職された経歴の持ち主です。

2011年、当時は就職氷河期で、就職に不安を抱える地元の大学生の支援を目的にNPO法人キャリアプロジェクトを立ち上げられ、2013年から2014年には広島県緊急雇用対策基金事業として広島県から委託を受けて「街なかキャリアプラザ」を運営、学生と地元企業、或いは学生と学生が出会う場を提供されました。大手企業への就職を目指す地元の学生達に有田さんは、「何か辛い事とかあったら、遠慮なく相談しに戻って来なさい」と送り出されていらっしゃいました。一人の学生が大手企業に一旦就職した後に退職、有田さんと再会され、現在ではフリーエム社で働いていらっしゃるとか。

現在では時代が変わり、地方の中小企業が抱える「社員の採用、教育、定着の難しさ」と言った課題に取り組んでいらっしゃいます。学生は中小企業への入社に就いて、「同期が居ない、数名の同期しか居ない、社内には年長者や高齢者しか居らず、相談相手や遊び仲間が居ない」、

「大企業との格差が拡大する」、「いつも同じ顔

と業務、狭い人間関係」と言った不安を感じています。確かに、中小企業が単独で数名の新入社員の為に出来る事には限りがあります。

そこで有田さんは「地域人材育成コンソーシアム」を思い付かれ、地域企業間の連携による「地域の人事部」作りに着手されました。それが「あきたかたコンソ」です。具体的には、参加企業による合同入社式、合同研修・勉強会、合同同期会・懇親会を開催、更には参加企業間での人事異動（A社からB社への出向員の派遣）まで着手されています。別々の会社に入社した同期が一堂に会して入社式を執り行う、同期会を開催すると言うのは、想像しただけでわくわくします。また、いわゆる「他人の釜の飯を食う」を体現出来る企業間の人材交流は、人材育成に非常に有効でしょう。中小企業一社単独では出来なかった事を、複数の企業が一緒になる事で実現されています。

地方が直面する少子高齢化や人口減少にはなかなか歯止めがかからず、それに伴って中小企業が直面する諸問題も益々深刻化する一方です。そんな中、安芸高田市を一つの会社と見立て、そこに所在する企業をその会社の事業と捉え、あきたかたコンソがその会社の人事部として機能すると言う構想、取り組みは、決して簡単ではありませんし、今後も紆余曲折があると思いますが、地方活性化の切り札として大きく期待したいと思います。

以上

(報告：プログラム担当副リーダー 藤田洋一)

3月11日 累計：1,446,000円 (本例会109,000円)

○江角 優：先週火曜日（3月5日）第3回経営研究会を開催しました。お忙しい中『医療経営について』講演頂いた県病院の木矢会員に厚く御礼申し上げます。そして参加頂いた多くの会員の皆様ありがとうございました。同3月5日奥さんの誕生日に出雲の自宅に綺麗なランを届けて頂きありがとうございます。(2口)

○木矢克造：先日は経営セミナーの医療経営の話で沢山の方に来てもらいまして有難うございました。(2口)

○八木 裕・宝迫信義：ソフトテニスのアジアカップ広島国際大会が3月10日に行われ、NTT西日本ソフトテニス部が韓国のチームを下し4連覇しました。(1口×2名)

○藤田洋一：伊藤忠グループのC.I.S.Sが3月23日(土)、24日(日)に広島産業会館で決算感謝フェアを開催します。招待状を配布させて頂きましたので、是非ご来場ください。(1口)

○奥道恒夫：孫が広島大学に合格しました。(1口)

○鹿瀬賢二：前回例会の卓話時間にて携帯の音量OFFし忘れた所、滅多にかかってこない着信があり、ご迷惑をおかけしました。すみません。(1口)

○伊藤正樹：3日の日曜日、血気胸にて緊急手術をして頂きました。奥道院長および吉島病院の皆様ありがとうございました。大量出血で手術台上に上がった時、意識を失ってしまいました。助けて頂き感謝です。(10口) ⇒奥道恒夫：(1口)

○米川 晃：駐車券 ありがとうございます。(1口)

今日は何の日にて：今週3月14日はホワイトデーということで 男性会員全員出宝(1口×86名) かけるBOX (計2口)

## 第3回経営研究会 「医療経営について」

【講師】広島県立広島病院 木矢 克造 会員

【日時】平成31年3月5日（火）18:30～ANAクラウンプラザホテル（カメリア）29名



今年度の経営研究会は各業界や市場の動向を学ぶことをテーマに年4回開催を予定しています。1回目9月は「情報通信業界」、2回目12月は「銀行金融業界」の動向を学びましたが、3回目の今回は「医療分野」について同じ東南RC会員でもある広島県立広島病院の木矢院長から講演いただきました。

沢山のプレゼン資料を準備していただき、病院経営としてのお話しに続いて日本の医療事業全体が抱える課題と解決に向けた基本的な方向性やマネジメントについてユーモアを交えてわかりやすくお話しいただきましたが、現在、広島県立広島病院に関わっている人の数は、お医者さん200、看護師さん800そして患者さん600の約1,600人だそうです。これに出入り業者さん300などが加わるので大きな村レベルの大病院経営をしておられることがわかります。

最初に医療分野の特徴を経営の切り口からお話しいただきましたが、営利企業と医療事業の特性が異なる（特に医療では安全性・継続性重視）ことや、医療事業は高コスト構造（人もベッドも金も要る）であること、企業と医療事業の作業工程の違い（営利企業はサプライチェーンで低コスト）や、医療職の関心事は医療の質にあるので未収金も多く利益水準も低いこと、特に公立（自治体）病院では社員（公務員）給与は収支と無関係に保証されるので人件費が経営を圧迫して赤字、など現状の公立病院の経営課題を教えてくださいました。

次に、日本の医療事業全体が抱える大きな課題の一つである超高齢社会へ対応するため2025年の医療・介護体制を整備中であること、日本の人口が2008年1億2808万人をピークに2050年9708万人に減少、2100年以降さらに激減すること、社会保障費の伸びが顕著で赤字国債に頼らざるを得ない状況であること、等から高齢化社会での医療の方向性は在宅医療化や「とことんからまあまあへ」、専門医から総合医へシフトしていくこと、など平素学べないことをお話ししたいへん勉強になりました。

懇親会の部も賑やかで活発な意見交換が交わされ盛りあがりました。

年度末の多忙な折にも関わらず講演いただいた木矢会員に厚く御礼申し上げます。そして参加していただいた会員の皆さまのご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

次回(第4回)は今年度最終会で6月予定です。皆さまお誘いあわせのうえ奮ってご参加ください！

【(報告) 職業奉仕・経営研究担当リーダー 江角 優】



**財団活動にこの一枚。**  
～毎日のお買い物や公共料金のお支払いで、財団活動に貢献できます～

カード年会費 **永年無料**

Rotary International Standard MasterCard

Rotary International Gold MasterCard

カード年会費 **10,000円**

**ロータリーカードをご利用いただくだけで  
ポリオ撲滅支援にご参加いただけます。**

ロータリーカードをご利用いただくと、ご利用金額の0.3%がロータリーに送金され、ポリオ撲滅に役立てられます。0.3%はオリコの負担となりカード会員の皆様には一切負担がかかりません。

**<ポイントによる寄付>**

- ・ロータリーカードのご利用でたまったポイント（単位：スマイル）をロータリー財団へ寄付することもできます。
- ・オリコのポイントサービス 1,000 スマイル＝5,000 円分
- ・個人もしくはクラブの年次基金に計上されます。



## グローバル補助金奨学生 ― 第1回中間報告書 ―

2018-19年度グローバル補助金奨学生 宮田 晴香



氏名：宮田 春香

派遣ホストクラブ／カウンセラー：広島東南ロータリークラブ／菅 富樹様

受入ホストクラブ／カウンセラー：Rotary Club of London / Mr. Rajiv Sabharwal

教育機関：キングスカレッジ・ロンドン King's College London

専攻分野：大量破壊兵器の不拡散と国際安全保障 Non-Proliferation and International Security

## 1. 留学先について

留学先であるキングスカレッジ・ロンドンは1829年に創立され、イギリスで4番目に歴史ある大学です。学問分野によってテムズ川沿いにキャンパスが分かれており、第一学期の私の授業は主にStrandキャンパスとWaterlooキャンパスで行われました。余談にはなりますが、この二つのキャンパスをつなぐWaterloo Bridgeという橋から見る景色がロンドンで一番綺麗だと現地の方に教わりました。東側にはビッグベンとロンドンアイ、西側にはセントポール大聖堂やシティ地区の近代的な建築が見えて、ロンドンの歴史を感じることができます。私の通っているキャンパスの周りには他のロンドン大学群



珍しく晴れた日とロンドンらしい霧の日の Waterloo Bridge からの景色りと様々な機会に恵まれています。

キングスカレッジ・ロンドンのなかでも私の所属しているWar Studies学部は世界的にも有名で、研究トピックによって15のコースに分かれています。年度によって人数は変動するようですが、多いところで60人強、少ないところでは数名とばらつきがあることから細かい分類の様子が見えます。私の専攻している「大量破壊兵器の不拡散と国際安全保障」に関しては5名と非常に少ないのですが、その分担当教官と学生の距離が近く、少しお得な気分を味わっています。中でも、個別につくチューターの先生には日々の課題から修士論文まで様々なサポートをしていただいております、とても助かっています。

## 2. 学業面での成果

キングスカレッジ・ロンドンでは10週にわたる1連の授業で1モジュール（20単位）が構成されており、1年間で必修モジュール（40単位）と選択モジュール（80単位）、修士論文（60単位）の計180単位を取得します。今学期は必修である「大量破壊兵器と国際安全保障」に加え、選択科目として「サイバーセキュリティ」と「現代インドの政治哲学」という3つのモジュール（計60単位）を受講しました。



映画撮影にも使われた図書館自慢の部屋

## i. 大量破壊兵器と国際安全保障-Proliferation and International Security

核兵器、化学兵器、生物学兵器の拡散と不拡散・軍縮を包括的に学ぶ1年間にわたる授業です。前半にあたる今学期は主に大量破壊兵器拡散と不拡散・軍縮政策の歴史について学びました。この知識を応用して、来学期からは兵器保有国や地域のケーススタディやサイバー兵器、テロリズム、核兵器禁止条約など最新の問題について考察を深めます。今学期は、なぜ国が大量破壊兵器を保有しようとするのか、その際にどのような障害が生じるのか、兵器を持つことで国内外にどのような変化が起きるのかということの一つ一つ丁寧に学び、議論を深められたことがとても印象的でした。というのも、これまでの私は核兵器に保有後の問題を中心に学んでいたからです。大量破壊兵器を欲する背景にも様々な要因が絡んでおり、ケースごとに対策も変化させていかなければならないことを自覚しました。また、15名のクラスメイトは所属コースの学生に加え、軍備管理や科学と国際安全保障、国際関係学、国際紛争など様々な専攻の学生が集まっています。アメリカ、ヨーロッパ、

アジアからの学生が三分の一ずつとWar Studiesのなかでも特にダイバーシティに富んだ授業となっています。欧米出身の学生とアジア出身の学生の意見が異なっていたり、どうしても理論に偏りがちな私のような学生に科学的なバックグラウンドをもつ学生が具体的な技術や数字を提示したりと多様な議論を展開できたことも印象的でした。

#### ii. サイバーセキュリティ-Cyber Security

国家による諜報活動から防衛戦略、紛争における活用までサイバー領域の安全保障政策について学ぶ授業です。これからの時代にさらなる需要の増加が予想されるサイバーについて知識を深めたいと考え、本授業を選択しました。この授業で最初に受けた衝撃は、一般的なレベルと専門的なレベルで議論に大きな乖離が存在することでした。コンピューターやネットワークを活用した技術が身の回りのありとあらゆるところに存在するからこそ、しっかりとした定義付けや問題特定の必要性を感じ、期末エッセイでは「サイバー戦争」という用語の使用の是非について考察しました。サイバーセキュリティは私にとってはじめて専門的に学ぶ分野だったので、テクニカルな知識に苦勞することもありましたが、クラスメイトの助けを借りながらなんとか乗り越えることができました。

#### iii. 現代インドの政治哲学-Making of Contemporary India: History and Political Theory

核兵器保有国インドの考え方を学ぶため、所属学部外であるIndia Instituteの本授業を受講しました。この授業では、いかにして様々な政治哲学の思想や理論がインドの成り立ちを形成してきたかということを宗教や言語、カースト制度、ジェンダーなど様々なトピックから考察しました。インド政治哲学の権威である

Sunil Khilnani教授から直接学べたこともとても貴重な経験となりました。人種や宗教、言語など何事においても多様性に富んでいることがインドの特徴ですが、この多様性を障害とみなさず、むしろ強みとして国家形成に励んだ過程があることに感銘を受けました。植民地支配からの独立後、多様な国民をまとめあげるための戦略として原子力をはじめとする科学技術の発展などが用いられたことを知り、改めて多角的に核兵器開発を考察することの重要性を感じています。

### 3. 受入地区でのロータリーとの関わり、奉仕活動、カウンセラーとの交流

受け入れていただいている1130地区とRotary Club of Londonでは多くの活動に参加させていただいています。9月30日には1130地区の奨学生歓迎パーティーでロンドン近郊の奨学生と顔合わせをしました。10月19日～21日にイギリス南部の都市Bournemouthで行われたRotary District 1130 Conference

では、奨学生全員でプレゼンテーションを行いました。また、12月1日には1130地区の奨学生やカウンセラーの方と集まり、早めのクリスマスディナーを行いました。今年度の1130地区では日本、アメリカ、カナダ、イタリア、フランス、トルコ、カナダから公衆衛生や疫病学、開発学、紛争解決、言語学などを学ばれている方が27名集まっています。地区のイベント外でも奨学生同士で集まることが多く、高い志を持った仲間がいることをとても心強く感じています。



奨学生とのクリスマスディナー

Rotary Club of Londonではこれまで3回昼食会に参加させていただき、11月には自己紹介と研究内容に関するプレゼンテーションを行いました。また、12月10日にはクリスマスランチにも参加させていただきました。カウンセラーのRajivさんをはじめ、ロータリアンの皆さんはとても気さくな方が多く、公式なイベント以外でもお食事会にお誘いいただいております。



左：カウンセラーのRajivさんと。右：Rotary Club of London会長のLuisさんと

Rotary Club of Londonの方が関わっているPaddington Library English Conversation ClubとSt. Johns Hospiceでのボランティア活動にも参加しました。English Conversation Clubでは毎週土曜日、図書館にて英語を第二言語としている方を対象に英会話教室を開いており、私はアシスタントを担当



しました。日常会話はできるけれど発音や語彙力に自信がない、電話での応答が苦手、イギリスにきたばかりで英語があまりわからない…など様々な生徒の方が毎週集まり、料理や買い物など身近なシチュエーションで「生きた」英語を使う練習をしています。私自身も英語が第二言語なので自分の経験からレッスンを改良したり、生徒の方の相談に乗ったりと私なりの貢献ができたのではないかと思います。生徒の方がレッスンの終わりに見違えるように自信を持って英語を話す姿が印象に残っています。St. Johns Hospiceでは緩和ケアホスピスにいらっしゃる方へ昼食をふるまうボランティアに参加しました。昼食を提供するだけでなく、一緒にアクティビティをしたり、お話しをしたりと楽しいお昼の時間を過ごしてもらえよう努めました。このように、ロータリークラブを通して現地のコミュニティと関わる機会を紹介していただいております、非常に貴重な経験をさせていただいております。



右：English Conversation Clubの様子。左：ロータリアンの方にスコットランド料理をご馳走になりました。

#### 4. 直面した課題・今後の目標

日々、課題がとても多く今学期はこなすことで手一杯になってしまったことが今学期の反省点です。授業でのクラスメイトの発言を聞いていると、より深い批評や観察が必要なのだと痛感したので、今学期得た知識を定着させ、自分なりの意見をより建設的に述べられるよう来学期に向けて準備をして参りたいと思います。また、来学期からはいよいよ修士論文に本腰を入れて取り組んでいかなければならないので、計画的に進められるよう苦手なタイムマネジメントの改善にも取り組んでいきたいです。イギリスではこの時期は日照時間が短く、天気がすぐれないことも多いので、憂鬱な気分になってしまうこともあります。3月のイースター後はガラッと変わり明るくなると聞いています。イースターを晴れ晴れとした気分で迎えられようできることを一つずつ積み重ねていきたいと思っています。

### ■ロータリーの誕生とその成長



20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたもので

**ポール・ハリス**す。

こうして**1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生**しました。

それからは志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれ、国境を超えて、今では**200以上の国と地域**に広がり、**クラブ数35,729、会員総数1,209,792人**(2019年1月17日R I公式発表)に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

#### ロータリーのはじめの4人

左からガスターバス E. ロア  
シルベスター・シール  
ハイラム E. ショーレー  
ポール・ハリス

